

# 放射線科

## ⑥ 1. 担当教員

教授 渡邊 嘉之  
准教授 園田 明永  
講師 井藤 隆太  
講師 河野 直明  
講師 永谷 幸裕  
助教 北原 均  
助教 津川 拓也  
助教 大谷 秀司  
助教 土屋 桂子  
助教 友澤 裕樹  
助教 瀬古安由美  
特任助教 村上 陽子  
特任助教 青木 健  
特任助教 佐藤 滋高  
特任助教 高木 海

非常勤講師  
村田喜代史 (洛西ニュータウン病院放射線科部長)  
高橋 雅士 (友仁山崎病院院長)  
新田 哲久 (岡本記念病院放射線科部長)  
川上 光一 (医仁会武田総合病院放射線科部長)  
松尾 寿保 (近江八幡総合医療センター放射線科部長)  
金崎 周造 (康正会武田病院放射線科部長)  
浜中 恭代 (康正会武田病院PETセンター副部長)  
前田 清澄 (淡海医療センター放射線科部長)  
邵 啓全 (公立甲賀病院放射線科部長)  
井本 勝治 (公立甲賀病院放射線科副部長)  
大田 信一 (長浜赤十字病院放射線科部長)  
若宮 誠 (長浜市立病院放射線科部長)

## ① 2. ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
種々の病態に対する医用画像を用いた診断やIVR治療、および放射線治療の基礎を習得する。	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 現在用いられている種々の画像診断法の説明ができる。</li><li>2. 基本的疾患の特徴的画像所見を理解し、鑑別診断を述べることができる。</li><li>3. 基本的なIVRの適応と手技の説明ができ、副作用を述べることができる。</li><li>4. 種々の放射線治療法の適応と手技の説明ができ、放射線による障害を述べることができる。</li></ol>

## ⑦ 3. 評価基準

臨床実習担当者の判断を総合的に判断するが、以下の項目を評価する。

1. 質問に対する応答の態度、知識量、コミュニケーション能力
2. 与えられた課題の処理能力

③

## 4. 臨床実習のユニット内容

曜日	時間	室名	ユニット	目的	方法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9:30～	MRカンファレンス室	画像診断総論	画像診断の診断学における現状や今後を学ぶ	症例の検討と説明・討議	スライド、患者画像等	1	出席 行動観察	渡 邊
	13:00～	MRカンファレンス室	小児画像診断の基礎	小児画像診断の基礎を学ぶ	症例の検討と説明・討議	患者画像 スライド等	1	出席 行動観察	北 原
火	9:00～	MRカンファレンス室	心臓画像診断の基礎	心臓画像診断の基礎を学ぶ	症例の検討と説明・討議	患者画像等	1	出席 行動観察	永 谷
	13:00～	MRカンファレンス室	核医学画像診断の基礎を学ぶ	核医学画像診断の基礎を学ぶ	症例の検討と説明・討議	患者画像、 スライド等	1	出席 行動観察	瀬 古
	14:00～	血管撮影室	超音波診断の基礎	超音波画像診断の基礎を学ぶ	超音波装置を用いて実習	超音波装置	1	出席 行動観察	村 上
	講義終了後	総合画像診断室など	読影実習	読影の実際を体験する	症例の読影を行う	ビューワ	1	出席 行動観察	大 谷 / 大 佐 / 藤
水	9:00～	MRカンファレンス室	消化管画像診断の基礎	消化管画像診断の基礎を学ぶ	症例の検討と説明・討議	スライド	1	出席 行動観察	友 澤
	14:00～	MRカンファレンス室	乳腺診断の基礎	乳腺画像診断の基礎を学ぶ	症例の検討と説明・討議	スライド	1	出席 行動観察	土 屋
	講義終了後	総合画像診断室など	読影実習	読影の実際を体験する	症例の読影を行う	ビューワ	1	出席 行動観察	大 谷 / 大 佐 / 藤
木	9:00～	MRカンファレンス室 /血管造影室	腹部画像診断の演習	症例見学を通じて、血管造影手技の基本を習得する。	症例の検討と説明・討議 血管造影見学	患者画像等	1	出席 行動観察	高 木
	13:00～	MRカンファレンス室 /放射線治療棟	放射線腫瘍学の基礎	放射線治療の理論、基礎、悪性腫瘍の診療における位置づけを学ぶ	各装置による説明、 症例についてプランニングを行う	シミュレーター、 ライナックグラフィ、 線量分布図等	1	出席 行動観察	河 野 / 津 川
	講義終了後	総合画像診断室など	読影実習	読影の実際を体験する	症例の読影を行う	ビューワ	1	出席 行動観察	大 谷 / 大 佐 / 藤
金	9:00～	MRカンファレンス室	胸部画像診断の基礎	胸部X線写真の診断を学ぶ	症例の画像の説明・討議	患者画像等	1	出席 行動観察	園 田
	13:00～	MRカンファレンス室	神経画像診断の基礎	神経画像診断基礎を学ぶ	症例の検討と説明・討議	スライド、患者画像等	1	出席 行動観察	井 藤

※読影実習は1人ずつ1回以上を担当教官と時間を打ち合わせて行う。

## 5. 集合場所・時間

各時間にMRカンファレンスルームに集合する。集合時間は表の通り。

## 6. 学生へのメッセージ・注意事項等

放射線科では、全領域にわたる診断、治療が行われていて、病院の中央部門として画像診断の中心的役割を果たしていることを理解してほしい。

全体の臨床実習では、様々な画像の読影やミニレクチャーを中心に、放射線診療を学んでもらうカリキュラムになっている。アドバンスコースでは、自ら調べることによって所見から鑑別診断を進める診断法を学ぶ。また、種々のカンファレンスにも参加してもらう。

②

## 7. 臨床実習（アドバンス）概要

臨床実習（ローテーション）では、読影やミニレクチャーを中心に、放射線診療を学んでもらうカリキュラムになっているが、アドバンスコースでは、自ら調べることによって所見から鑑別診断を進める診断法を学ぶ。また、種々のカンファレンスにも参加してもらう。